

May 8, 2019

**【前日の為替概況】ドル円、米中貿易摩擦の激化懸念で110.17円まで下落**

7日のニューヨーク外国為替市場でドル円は3日続落。終値は110.26円と前営業日NY終値(110.76円)と比べて50銭程度のドル安水準だった。トランプ米大統領に続き、ライトハイザー米通商代表部(USTR)代表が対中追加関税の引き上げを表明すると、米中貿易摩擦の激化懸念が高まり米国株相場が急落。投資家がリスク回避姿勢を強め円買い・ドル売りが優勢となった。米長期金利の低下も相場の重しとなり、一時110.17円と3月28日以来の安値を付けた。

ユーロドルは小幅下落。終値は1.1191ドルと前営業日NY終値(1.1199ドル)と比べて0.0008ドル程度のユーロ安水準だった。欧州の取引時間帯に、欧州連合(EU)の執行機関である欧州委員会が2019-20年のユーロ圏成長率見通しを引き下げたと伝わった。NY市場に入ってもユーロ売り・ドル買いが出て一時1.1167ドルまで値を下げた。ただ、前日の安値1.1159ドルが目先サポートとして意識されたほか、米長期金利の低下に伴うユーロ買い・ドル売りが入ると1.1194ドル付近まで下げ渋った。

ユーロ円は5日続落。終値は123.38円と前営業日NY終値(124.07円)と比べて69銭程度のユーロ安水準。ダウ平均が一時640ドル超下落し、ナイト・セッションの日経平均先物が430円下げると、投資家がリスク・オフの動きを強め円買い・ユーロ売りが優勢となった。2時30分過ぎに一時123.11円と1月4日以来の安値を付けた。

南アフリカランド円は軟調。南ア総選挙を明日に控える中、世界的な株価下落に伴う売りが出て3時過ぎに一時7.61円と3月29日以来の安値を付けた。なお、ラマポーザ大統領率いる与党・アフリカ民族会議(ANC)は経済格差や汚職への不満からかつてない逆風にさらされており、過半数を維持し安定した政権運営につながられるかどうか焦点となる。結果は11日にも判明する見通しだ。

**【本日の東京為替見通し】米中貿易戦争再戦まで53時間、中国の4月対米貿易黒字に要注目か**

本日の東京市場のドル円は、米中貿易戦争の停戦終了まで約53時間となる中、中国4月の対米貿易黒字に注目する展開となる。

明日9日から10日にかけてワシントンで米中通商協議が開催される予定だが、米国側はライトハイザー米通商代表部(USTR)代表とムニューシン米財務長官、中国側は、劉鶴中国副首相が臨むと報じられている。

中国の4月の対米貿易黒字が拡大基調にあった場合、米中通商協議での米国側の心証が悪化することで、リスク回避の円買い要因となる。

トランプ米大統領とライトハイザー米通商代表部(USTR)代表は、米中通商協議が合意に至らなかった場合、10日金曜日の米国東部時間の午前0時1分(日本時間10日午後1時1分)に、2000億ドルの輸入品に対して対中制裁関税を10%から25%に引き上げると警告している。そして、中国は、その1分後に報復関税を発動する、と警告している。

米中通商協議の論点は、中国が知的財産権を巡る法改正に応じるか否かとなる。

中国共産党の機関紙「人民日報」の系列紙が、「中国は協議を一時的に中断する用意がある」「交渉失敗でも中国への影響は管理可能」と報じたことで、米中通商協議が決裂して、停戦中の米中貿易戦争が始まる可能性が高まっている。

ドル円のテクニカル分析では、ダブル・トップ(112.14円・112.40円)を形成し、窓(3日安値111.07円・6日高値110.96円)を空けて下落トレンドを形成しつつある。一目均衡表でも、雲の下限110.32円を下抜けたことで、三役逆転の売りの時代に入っている。

ドル買いオーダーは、110.00円、109.60円に控え、ドル売りオーダーは、110.90-111.00円に控えている。

ドル円の買い材料は、市場で噂されている本邦企業による海外企業買収に伴う5000億円規模の円売りとなる。

ドル円の売り材料は、朝鮮半島やイラン周辺の地政学リスク、米国を軸とする対中・対日通商協議が難航・決裂する可能性、などが挙げられる。

**【本日の重要指標】** ※時刻表示は日本時間

## &lt;国内&gt;

- 08:50 ☆ 3月14-15日分の日銀金融政策決定会合議事要旨
- 08:50 ◇ 4月マネタリーベース（予想：前年比3.2%）

## &lt;海外&gt;

- 08:01 ◇ 4月英小売連合（BRC）小売売上高調査（予想：前年同月比2.5%）
- 11:00 ☆ ニュージーランド準備銀行（RBNZ）、政策金利発表（予想：1.50%に引き下げ）
- 12:00 ◎ オアRBNZ 総裁、記者会見
- 未定 ◎ 4月中国貿易収支（予想：350億ドルの黒字、2167.5億円の黒字）
- 14:45 ◇ 4月スイス失業率（季節調整前、予想：2.3%）
- 15:00 ◎ 3月独鉱工業生産（予想：前月比▲0.5%/前年同月比▲2.6%）
- 17:15 ◎ ラムスデン・イングランド銀行（英中銀、BOE）副総裁、講演
- 20:00 ◇ MBA住宅ローン申請指数
- 20:30 ◎ ドラギ欧州中央銀行（ECB）総裁、講演
- 21:15 ◇ 4月カナダ住宅着工件数（予想：19.64万件）
- 21:30 ◎ ブレイナード米連邦準備理事会（FRB）理事、講演
- 23:30 ◇ EIA 週間在庫統計
- 9日 02:00 ◎ 米財務省、10年債入札
- 9日 05:00 ◎ オアRBNZ 総裁、議会証言
- 9日 06:00 ☆ ブラジル中銀、政策金利発表（予想：6.50%で据え置き）
- 南アフリカ総選挙

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

## 【前日までの要人発言】

7日 06:01 ライトハイザー米通商代表部(USTR)代表  
「米政府は10日に対中関税を引き上げる」  
「中国代表団は9日に到着する」  
「米国は中国との協議を打ち切らない」

7日 06:02 ムニューシン米財務長官  
「中国との貿易協議の方向は大きく変わった」

7日 09:21 カプラン米ダラス連銀総裁  
「世界的な成長鈍化を懸念している」  
「米中通商協議は非常に複雑で込み入っている」  
「インフレ率の鈍化は一時的な現象」  
「まだ利下げを支持するつもりはない」

7日 09:46 茂木経済財政相  
「法令に定められた通りに、消費税は引き上げる予定」  
「鉱工業生産は、中国経済減速などの影響で一部業種で弱い動き」

7日 13:36 オーストラリア準備銀行(RBA)声明  
「理事会は今回の会合で政策スタンスを変更しないことが適切と判断」  
「経済には依然として余裕があり、インフレを目標と一致させるためには労働市場のさらなる改善が必要と認識」  
「理事会は今後の会合で労働市場の進展に細心の注意を払っていく」  
「1-3月期のインフレデータは予想よりも著しく低く、インフレ圧力が経済の多くで抑制されていることを示唆」  
「豪ドルの水準は最近の狭いレンジの下限にある」

7日 15:18 ルメール仏財務相  
「貿易戦争が世界経済にとって最大の脅威」  
「米中が貿易戦争を避けるよう要求」

7日 16:17 中国外務省  
「関税はいかなる問題の解決にはならない」  
「協議において相違があることは正常」

7日 16:50 ラガルド国際通貨基金(IMF)専務理事  
「米中の緊張の高まりは世界経済にとって脅威」

7日 17:58 エルドアン・トルコ大統領  
「イスタンブール市長選のやり直しは民主主義を強める」

7日 19:17 トルコ最大野党・共和人民党(CHP)  
「イスタンブール市長選のやり直しは正当性の危機をもたらす」  
「選挙管理委員の辞任を要求する」

7日 19:49 ペスコブ露大統領報道官  
「プーチン露大統領がポンペオ米国务長官と14日に会合する可能性」  
「今のところ米露首脳会談については議論していない」

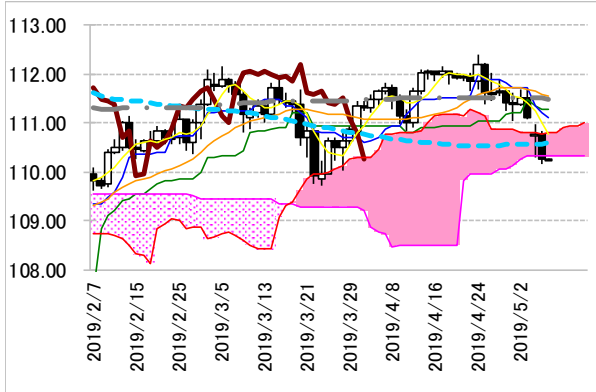
7日 20:30 英首相報道官  
「野党・労働党との協議は合意に至っていない」  
「EUに一時的に残留する可能性については答えられない」

7日 20:49 ユンケル欧州委員長  
「EUとの通商関係でトランプ大統領は信頼できる」  
「昨年7月にホワイトハウスを訪れて以来、米EU通商関係に変化はない」

7日 23:12 クラリダ米連邦準備理事会(FRB)副議長  
「最近のインフレ鈍化は一時的な要因」  
「米経済は好調」

※時間は日本時間

## 〔日足一目均衡表分析〕

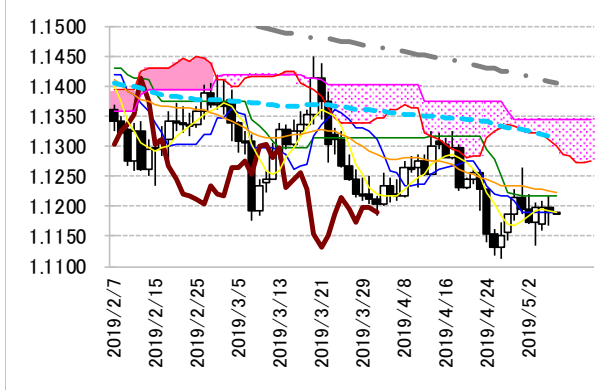


### <ドル円＝一目・雲の上限を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲を下抜けたことで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯した。ダブル・トップ (112.14円・112.40円) 形成後の窓 (3日安値 111.07円・6日高値 110.96円) 空けで下落トレンドの可能性が高まりつつある。

本日は、一目・雲の上限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	111.10(日足一目均衡表・転換線)
レジスタンス 1	110.79(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	110.26
サポート 1	109.71(3/25 安値)
サポート 2	108.50(1/31 安値)

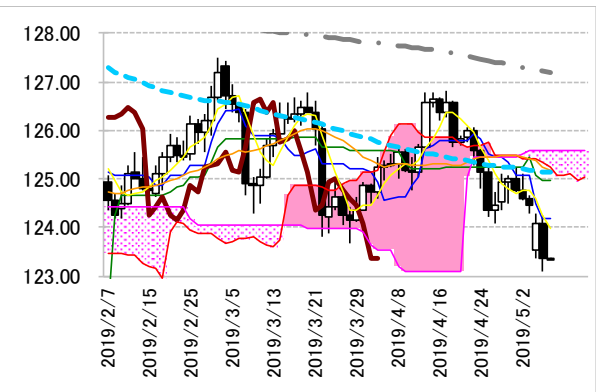


### <ユーロドル＝5/1 高値を抵抗に戻り売りスタンス>

小陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。

本日は、一目・転換線 1.1218ドルを念頭に置き、5月1日高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1265(5/1 高値)
前日終値	1.1191
サポート 1	1.1112(4/26 安値)

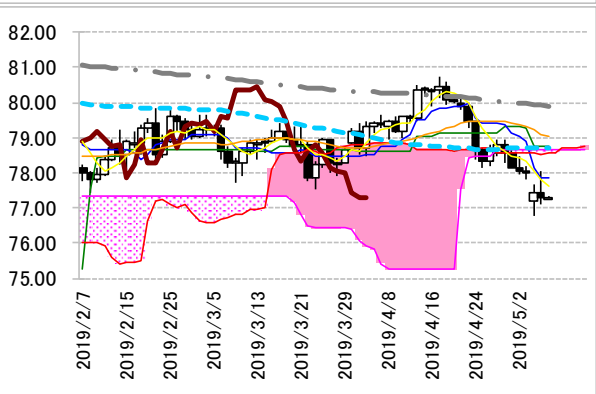


### <ユーロ円＝一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。

本日は、一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	124.17(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	123.38
サポート 1	122.59(1/4 安値)



### <豪ドル円＝一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移していることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。

本日は、一目・転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	77.87(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	77.31
サポート 1	75.24(1/4 安値)

